

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
AM14Z002	医療倫理学Ⅱ (Medical Ethics II)	基礎分野科目

必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
必修	1	1	後期	水曜・1限	今井 浩光 内線：5600 E-mail：imaih@noita-u.ac.jp

【授業の概要・到達目標】

医療現場における複雑な倫理的課題を理解し、自ら考察する能力を養成することを目標とする。特に人生の最終段階の医療と先進的な医療の持つ倫理的な課題を取り扱う。

具体的な到達目標	ディプロマポリシーとの対応					
	1	2	3	4	5	6
1. 医療の多様性について説明できる。				○		
2. 臨床倫理の考え方を説明できる。	○					
3. 先進的な医療の持つ倫理的課題を指摘できる。			○			

【授業の内容】

1	臨床倫理導入1
2	臨床倫理導入2
3	動画コンテンツ視聴
4	人生の最終段階の医療における倫理1 (尊厳死、安楽死)
5	人生の最終段階の医療における倫理2 (老いと医療)
6	人生の最終段階の医療における倫理3 (認知症医療の倫理)
7	人生の最終段階の医療における倫理4 (緩和ケア)
8	人生の最終段階の医療における倫理5 (DNAR 指示)
9	人生の最終段階の医療における倫理6 (エンドオブライフに求められる倫理)
10	脳死・臓器移植
11	出生前診断と人工妊娠中絶
12	遺伝子診断・遺伝子治療
13	エンハンスメント、生殖補助医療
14	さまざまな医療倫理の総括 (医療従事者の倫理)
15	

【アクティブラーニングの内容・その他の工夫】

A：知識の定着・確認	○	倫理的課題についての調査、レポート作成を行う。また、少数グループで倫理的課題についてのディスカッションを行い、倫理的判断の多様性と倫理的検討を実践的に学ぶ。	【その他の工夫】 動画コンテンツを利用する。
B：意見の表現・交換	○		
C：応用志向	○		
D：知識の活用・創造			

【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	様々な倫理的問題について、資料を検索し、知識を整理する (15h)
事後学修	グループでのディスカッション後の考え方を振り返り (2h)

【教科書】

「医学生のための生命倫理」 盛永審一郎・松島哲久編 丸善出版 平成24年 ISBN 978-4-621-08593-6

【参考書】

指定しない。

【成績評価方法及び評価の割合】

評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7
テスト	90%	○	○	○				
レポート	10%			○				

【注意事項】
【備考】

教員の実務経験の有無	○	
教員の実務経験		附属病院の医師
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無		
教員以外の指導に関わる実務経験者		
実務経験をいかした教育内容		医療現場で問題となる事例を講義に取り入れる。
授業形態		